

令和8年第2回 仙台市入札等監視委員会 会議録

【署名】

高畑 終子

押印掲載を省略

1 日時 令和8年6月3日(水) 10時00分～11時30分

2 開催場所 仙台市役所本庁舎 5階 第2会議室

3 出席委員

石川 宣子 委員

鍵屋 浩司 委員

高畑 柊子 委員

畠山 裕太 委員

平岡 智広 委員

(50音順 敬称略)

4 説明等のため出席した者の職・氏名

財政局 財政部 契約課長

矢戸 恵一

財政局 財政部 契約課 工事契約係長

大江 健太

財政局 財政部 契約課 管理係長

庄司 菜々子

都市整備局 技術管理室 技術企画担当課長兼被災地支援担当課長

渡邊 康英

都市整備局 技術管理室 技術企画担当係長

齋藤 峻太

水道局 総務部 財務課長

鈴木 啓太

水道局 総務部 財務課 契約係長

阿部 泰洋

水道局 給水部 計画課 技術管理係長

宮田 真人

水道局 浄水部 参事(兼)施設課長

太田 信

水道局 浄水部 施設課 施設係長

畑山 忠幸

5 会議の経過

【1】 開会

【2】 議事の経過及び内容

進行： 鍵屋 浩司 委員

会議録署名委員： 高畑 柊子 委員

(1) 工事に係る入札及び契約の運用状況について

事務局より、「入札方式別発注工事総括表」(会議資料 P. 1)、「入札方式別発注工事一覧表」(会議資料 P. 2～27)、「指名停止の運用状況一覧表」(会議資料 P. 28)に基づき報告。

【質疑応答】

工事契約及び指名停止の状況

論点等	発言者	発言内容
指名停止期間について	委員	指名停止期間について、要綱上は期間の幅があるが、原則下限の期間を適用しているのか。
	事務局	指名停止期間については当市では基本的に要綱に定められている下限の期間を適用している。

(2) 事案の抽出及び審議事案の選定について

- 事務局より、今回審議対象となる 261 件の工事のうち、石川委員が事前に抽出した「入札方式別発注工事抽出事案」10 件を報告。(詳細は資料 P. 29 参照)
なお、その際案件の抽出に関し、次の質疑がなされた。

- 委員会において、1) の 10 件のうち本日審議する事案として以下の 6 事案を選定。

【選定事案】

◆制限付き一般競争入札

- ④仙台市陸上競技場大規模改修工事 (平岡委員)
- ⑤仙台市立秋保小学校校舎等及び(仮称) 仙台市秋保児童館新築工事 (石川委員)
- ⑥仙台市陸上競技場大規模改修電気設備工事 (高畑委員)
- ⑧仙台市中央卸売市場食肉市場大動物解体棟換気設備及び污水处理施設脱臭設備改修工事 (石川委員)
- ⑨令和 7 年度青葉区管内デザイン灯改修工事その 1 (畠山委員)
- ⑩水施建施 第 2025-7 号 茂庭浄水場ろ過池洗浄用高置水槽新設工事 (本土工

事) (石川委員)

(3) 抽出事案の審議

【質疑応答】

「④仙台市陸上競技場大規模改修工事」について

論点等	発言者	発言内容
共同企業体の構成について	委員	本件は共同企業体での参加を条件としているが、共同企業体での参加を求める場合の条件は定めているのか。また、共同企業体の構成員数についても定めがあるのか。
	事務局	当市では「仙台市共同企業体運用基準」という基準を定めており、その基準に照らしつつ、案件ごとの状況を踏まえ判断している。
共同企業体の構成について	委員	共同企業体の出資配分等の構成については仙台市で定めているのか。
	事務局	最低限の出資配分率については定めているが、その他については、個々の判断に任せている。
公告日について	委員	本件の公告日はいつになるか
	事務局	令和7年6月3日
業者数について	委員	共同企業体の代表者として条件に合致する業者数が21者と記載があるが入札参加条件として設定している業務実績を考慮すると、実際には何業者程度が該当するのか把握しているか。
	事務局	業者個々の業務実績については把握していない。
仮契約について	委員	本件は議会の議決前に仮契約を締結し、議会の議決後本契約として成立したとあるが、仮契約とはどのようなものか。
	事務局	議会の議決の前に契約の予約をしている状況。仮に議決がなされなかった場合には契約が無効となる性格のもの。

「⑤仙台市立秋保小学校校舎等及び（仮称）仙台市秋保児童館新築工事」について

論点等	発言者	発言内容
工期について	委員	本件は工期が令和9年3月19日であるが、令和9年4月1日で開校すると考えてよいのか。また、そうした場合工事終了後から開校までに期間の余裕がないが、安全確認等は可能なのか。
	事務局	当該校舎の開校日については事務局で把握していないものの、別の小中学校においては夏休み明けより新校舎を開校するケースもあると聞いている。
公告日について	委員	本件の公告日はいつか。また案件ごとに公告日から開札までの期間は変えているのか。
		本件の公告日は令和7年6月3日。金額により取らなければいけない見積

		期間が定まっているため、それに応じて期間は調整をしている。
入札参加者数について	委員	本件の入札参加者が1者となっているが、理由等で考えられることはあるか。
		明確な理由は難しいが、可能性として技術者不足が考えられる。

「⑥仙台市陸上競技場大規模改修電気設備工事」について

論点等	発言者	発言内容
総合評価について	委員	同額での入札が3者あるが、評価値により落札者を決定したということか。
	事務局	企業ごとに評価項目に応じた技術評価点を算出し、これを入札価格で除すことにより、評価値が算出される。本件は同額入札なので、技術評価点が高かった企業の評価値が高くなり、その企業が落札候補者となった。
入札価格について	委員	複数の業者が同価格で入札をするというのはあり得ることなのか。
	事務局	制度上、総額判断基準価格は92%を上限として設定している。本件においては、業者ごとに積算の結果、総額判断基準価格が92%になると判断し、入札をしたものと考えられる。
評価値について	委員	総合評価について、会社規模が大きい会社のほうがより有利になるということはあるのか。
	事務局	総合評価の評価項目は、企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地域貢献等を総合的に評価しているため、会社規模が大きい会社ほど有利になるという設定ではない。
地域貢献について	委員	地域貢献についてどのように評価をしているのか。
	事務局	例えば、災害時の応援協定や緊急工事への対応等を評価項目としている。

「⑧仙台市中央卸売市場食肉市場大動物解体棟換気設備及び汚水処理施設脱臭設備改修工事」について

論点等	発言者	発言内容
入札参加者数について	委員	本件は入札参加条件として施工実績を設定していない案件だが、入札参加者数が1者となった理由はあるか。
	事務局	技術者不足が考えられるところ。本件は以前に当該工事に含まれる換気設備単体で公告をしたところ、参加者無しで不調となった経緯がある。換気設備単体では工期と金額のバランスが取れていないことが考えられたため、脱臭設備部分を加えバランスを調整し発注しなおした。
建設業許可について	委員	特定建設業許可と一般建設業許可の違いは。
	事務局	下請けに発注できる金額が異なっている。一般建設業許可の場合、元請と

		して、下請けに発注できる金額に制限がある。
--	--	-----------------------

「⑨令和7年度青葉区管内デザイン灯改修工事その1」について

論点等	発言者	発言内容
失格について	委員	入札参加者数8者の内6者が失格になっている。一般管理費等の項目により失格になっているケースもあるようだが、設定金額等についてどう考えているか。
	事務局	設定金額は積算金額に則り設定しており、適正だと考えている。本件については、競争性が強く働いた結果、失格者が多くなったと考えている。
入札方法について	委員	電子入札案件と郵便入札案件はどのように区別をしているのか。
	事務局	原則電子入札を採用しているが、共同企業体案件についてはシステムの都合上郵便入札案件としている。
配置技術者について	委員	配置技術者の条件の中の雇用条件について、3ヵ月以上の直接雇用を求める場合と直接雇用のみを求める場合があるようだが、直接雇用のみを求める場合は、当該案件のみ採用する技術者を配置することも可能ということか。
	事務局	制度としては可能。

「⑩水施建施 第2025-7号 茂庭浄水場ろ過池洗浄用高置水槽新設工事（本体工事）」について

論点等	発言者	発言内容
所在地要件について	委員	入札参加資格の所在地要件について市内本店ではなく市内営業所とした理由は。
	事務局	本件については幅広い業者に門戸を広げたいという視点で市内営業所として設定した。
施工実績について	委員	施工実績として平成22年度以降完成の工事を対象としているが、この期間に設定している理由は。また、施工実績を満たす業者数は把握しているか。
	事務局	一律に過去15年を基準として設定している。施工実績を満たす業者数は把握していない。
工事内容について	委員	本件に既存設備の撤去は含まれているのか。また、当該施設の設計は発注者で実施しているのか。
	事務局	本件に既存設備の撤去は含まれていない。本件に限らず施設の建設工事については基本的に設計コンサルタントに設計業務を事前委託している。
随意契約について	委員	工事の保守管理及び施設の維持管理はどのように行うのか。
	事務局	工事中の施工管理については本件に含まれている。完成後の施設の維持管理については水道局で行う予定。

以上のほか「全体を通しての質疑」について
特に質問はなかった。

6 その他

(1) 令和7年度の工事契約落札率についての報告説明を行った。

【質疑応答】

工事契約落札率について

論点等	発言者	発言内容
落札率について	委員	今回の入札方式別発注工事一覧表の中で電気工事の多くが落札率92%となっているが、理由等はあるか。
	事務局	制度上、総額判断基準価格は92%を上限として設定している。業者ごとに積算より総額判断基準価格が92%と判断し、入札を行ったものと考えられる。
物価上昇について	委員	資材・人件費の高騰により契約時よりも工事原価が上がってしまうことも現在の情勢だとあり得ると思うが、対策等はあるか。
	事務局	全国的な動きの中で仙台市でも単価変更やスライド条項の活用等を行っている。

(2) 今後の予定に関して、事務局から各委員に次のとおり依頼及び通知した。

次回の抽出委員は高畑委員に依頼する。

次回の委員会の日程は、令和8年8月下旬の予定である。

7 閉会